



SAPジャパン株式会社主催 (JSUG設備保全部会協賛)

みんなで形にするデジタル技術を活用した プラント業務のこれからの姿 2021

デジタルプラント
イニシアティブ

2018年12月より延べ25企業・団体以上から有志が集まり、デザインシンキングの手法を用いて、未来のプラント業務のあるべき姿の検討を継続して参りました。「デジタル変革の真の目的は、労働人口の減少、設備老朽化といった日本固有の社会課題の解決である」「業務のデジタル化は、装置産業、設備製造業、サービス事業の間で必要なデータを共有し協調することで実現する」これまでの活動からはこのような意見が多く交わされました。これまでの活動内容はこちらからもご確認になれます。 <https://www.sap.com/japan/cmp/oth/jp-digital-plant/index.html>

今回のセッションでは、プラントでの実用化目前のドローン为例にとり、より具体的なアクションを検討し、業界を越え官民共通で取り組むべきアクションについて考察します。

- 新しいデジタルデバイスを使ってプラント保全業務そのものをインテリジェント化するためにはあと何が必要か
- 日本国中どの企業も当たり前のように保全業務インテリジェント化の効果を得るためには何をすべきか

プラント業務の未来に関心をお持ちの皆様のご参加をお待ちしております。

日時： 第一回開催 2021年6月9日(水) 11日(金)
第二回開催 2021年6月16日(水) 18日(金)
各日とも13:30 - 17:00

開催方法：クラウド上のコミュニケーションツール
(ZOOM、MURAL)を使用したリモート開催

- 第一回開催、第二回開催はそれぞれ同じ内容です
- 長時間のリモートセッションは参加者の負担が大きいため、一つのテーマを2セッションに分割して開催します。2セッションを1セットとしてご参加ください。

対象：プラント業務、設備保全のあるべき未来の姿に関心のあるプラント操業、設備製造、行政の皆様、第一回、第二回それぞれ20名程度

参加料：無料(事前登録制)

お問い合わせ：弊社担当営業にご連絡ください

- 第一回開催、第二回開催どちらか一方にご参加(2セッション)ください。
- リモート開催をスムーズに進行するため、アクセス確認などのための事前セッションを開催しますので合わせてお申し込みください(詳細は裏面の事前準備の項を参照)。

第一回開催参加登録はこちら

<https://webinars.sap.com/jp/20210609-0611-digital-plant-initiative/ja/registration.aspx>

第二回開催参加登録はこちら

<https://webinars.sap.com/jp/20210616-0618-digital-plant-initiative-2/ja/registration.aspx>

THE BEST RUN



検討テーマ

*、予定アジェンダ、アウトプットは、予告なく変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください

<p>一日目 2021年 6月9日(水) 6月16日(水) 13:30 - 17:00</p>	<p>新しいデジタルデバイスを使って業務そのものをインテリジェント化するためにはあと何が必要か</p> <p>目的：ドローンを始めとするデジタルデバイスを活用して、人の働き方そのものを変える自動化、インテリジェント化された業務をデザインし、それを実現するためのアクションを考えます。</p> <p>課題：近年デジタル技術の進歩により、設備の点検や検査を効率よく実施できるデバイスが増えてきました。その中でもドローンは多くの企業でテスト・評価され、プラント内での飛行、データ収集能力が実証されています。一方で、</p> <ul style="list-style-type: none">ドローンが収集したデータの分析とその結果に基づく後続アクションの決定と実行は人手に頼る状況のまま残っており、業務の自動化は道半ばであるドローン技術を社内で賄うためにはその人財育成が負担であり、外部サービスを使う場合は、成果物としてのデータの受け渡しが発生し、業務の一貫したデジタル化が分断されるドローンの他にもロボット、センサーからのIOTデータなどが増えつつあり、人材不足の状況が続く中、十分にデータを活用する余裕がない <p>という次の課題が見え始めています。ここではこれらの課題を解決するデジタル化されたビジネスプロセスをデザインし、それを実行するために必要な業務変革のアクションやITの活用シナリオを作ります。</p>
<p>二日目 2021年 6月11日(金) 6月18日(金) 13:30 - 17:00</p>	<p>日本国中どの企業も当たり前のように保全業務インテリジェント化の効果を得るためには何をすべきか</p> <p>目的：ドローンや他のデジタル技術が、一部の先進企業だけの実用化に終わることなく全国で広く使用され、日本の産業全体の生産性・競争力向上に寄与するモデルをデザインし、その実現へ向けたアクションを考えます。</p> <p>課題：デジタル技術は一部の先進企業を中心に様々なトライアルが続いていますが、大きな効果を発揮するには中堅・中小の協業会社を含めた一気通貫のデジタルデータ流通や、予測精度を高めるための企業間のデータ共有や協調的な活動が必要です。しかしながら現時点では、</p> <ul style="list-style-type: none">中堅・中小の協業会社がデジタル化投資をするのは難しいどのようなデジタルデータをどこまで他社と共有してよいのか、協調領域と競争領域を区分けする明確な判断基準がない各社で類似の検討をバラバラに行っているため、スケールメリットが発揮できない <p>という状況で、普及の速度があがりません。ここではこの状況を打開し、多くの企業がデジタル化のメリットを享受できる環境を整えるための企業の壁を越えたアクションを考えます。</p>

予定アジェンダ、アウトプットなど

<p>事前準備</p>	<p>テーマについて、参加各社の中でどのような課題、問題、将来の改善への期待があるか、あらかじめ考えていただきます。</p> <p>参加者向け事前セッションを開催します。ワークショップで議論にスムーズにご参加いただくため、事前に利用するオンラインツールの接続/動作確認、利用方法の説明を行います。</p> <p>・6月2日(水) 15:00-16:00・6月3日(木) 15:00-16:00・6月4日(金) 15:00-16:00</p> <p>各日とも全て同じ内容で実施しますので、ご都合の合う日時を選択しワークショップと併せてお申込みください。</p>
<p>当日の アジェンダ概要</p>	<p>オープニング、活動趣旨の説明</p> <p>ディスカッションを活性化するための、事例、テクノロジー等に関するゲストスピーカーによるプレゼンテーション（経済産業省産業保安グループ様、旭化成様、センシロボティクス様他と調整中）</p> <p>テーマに関する各社の状況の共有</p> <p>グループワーク（課題、ストーリーと優先度、業務変革の必要性、IT支援、制度・規制など）</p> <p>振り返りとまとめ</p>
<p>アウトプット</p>	<p>業界・官民共通で取り組むべきデジタル化へ向けた変革のアクションプラン</p> <p>プラント業務デジタル化を支援する業界共通のIT要件</p>

第一回開催参加登録はこちら

<https://webinars.sap.com/jp/20210609-0611-digital-plant-initiative/ja/registration.aspx>

第二回開催参加登録はこちら

<https://webinars.sap.com/jp/20210616-0618-digital-plant-initiative-2/ja/registration.aspx>